

[レスリング] 全日本学生<フリースタイル>

稲葉(55kg級) 荒木田(120kg級)が優勝

林田は最多フォール賞

全日本学生選手権が8月24日から27日まで大阪府堺市の金岡公園体育館で行われ、フリースタイル55kg級で稲葉泰弘(経営3・霞ヶ浦高)が、同120kg級で荒木田進謙(経済1・光星学院高)が見事優勝を収めた。

また同120kg級で北村克哉(商3・日本工大付属東京高)が準優勝、林田重吾(経営3・北海高)がフリースタイル部門の最多フォール賞を受賞した。



▲55kg級で優勝した稲葉(右から2人目)(写真提供=ともに日本レスリング協会)

稲葉は難なく優勝を勝ち取った。その強さは全試合を通じ1ピリオドも落とさないほど、圧倒的だった。本人も自信はあったらしく「狙っていた大会なので、優勝できて良かった」と話し、「このままの状態を維持し、全日本学生王座決定戦(9月15日、駒沢体育館)に挑みたい」と語った。



▲120kg級の表彰式(右から北村、荒木田)

120kg級決勝は全日本選抜(専大スポーツ2006年6月既報)と同様、荒木田と北村の専大勢同士の対戦となったが、今回勝利を手にしたのは後輩の荒木田だった。トーナメント表を見て、北村が勝ち上がってくると思っていたらしく、「挑戦者としてどんどん攻めていくことを心がけた」と振り返る。また男子で史上16人目(延べ17人目)の1年次生王者となったことについて「歴代の名前を見ると偉大な選手ばかりなので、この榮譽に恥じないよう、努力していきたい」と語った。

(清水 智之・ネット情報3)

[テニス] 全日本学生

石原・大川ペア3位 古賀（愛）も健闘ベスト8

最上級生の意地見せる

全日本学生テニス選手権が8月5～13日、東京・立川市の昭和の森テニスクラブで行われた。女子ダブルスで石原伶奈(文4・静岡市立高)・大川香奈(文4・富士見丘高)ペアが最上級生としての意地と誇りを見せ、見事3位に入賞。シングルスでは古賀愛実(文1・筑陽学園高)が健闘し、ベスト8入りを果たした。

また、同会場で行われた関東学生テニス選手権(8月28日～9月4日)では、藤井友里(経済1・相山女学園高)・古賀ペアが、シングルスで古賀がそれぞれ3位。埼玉グリーン国際女子サーキット2006(8月29日～9月3日、川口市・グリーンテニスプラザ)では、石原・大川ペアが準優勝した。

上級生が培ってきた力に、新入生の若い力が加わり、着実に結果を残している。この夏の経験を糧に、更に熱い試合を展開してほしい。

(加藤 未希・文2)

[野球] 東都大学秋季2部リーグ戦

開幕戦連勝スタート

東都大学野球秋季2部リーグ戦が9月3日開幕した。初戦の相手は春季と同じ大正大。今季を占う大事な試合を連勝で飾り、勝ち点1を獲得した。長い戦いに向けて今季も好スタートを切った。

【1回戦】口火を切ったのは春季首位打者の濱塚勝也(商3・星稜高)。左翼席への技ありの一発で先制すると、3番・松本哲也主将(経営4・山梨学院大附属高)が右中間スタンドへ。さらに平田拓郎(商4・日章学園高)の3ランで勝負あり。投げても三浦雄己(経営3・東邦高)、橋本裕貴(経済3・専大玉名高)とつなぎ、14対0で完勝。

【2回戦】打線はこの試合も好調。馬場強司(商2・東邦高)の2ランで先制すると、中田大志(経営3・高陽東高)の2ラン、平田の2試合連続本塁打でリードを広げた。リーグ戦初先発の山田章裕(経済1・佐久長聖高)が6回無失点と好投し、10対1で快勝した。



▲2回戦で好投した山田

(文・写真とも 田口 能成・経済2)

[相撲] 全国選抜大学・実業団刈谷大会

個人戦で水野3位

9月10日、愛知県刈谷市の刈谷市総合体育館特設相撲場で行われた全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会の個人戦で水野裕士主将(経営3・愛工大名電高=写真右端)が3位入賞を果たした。

昨年の全日本チャンピオンを破っての上位進出に、「夏合宿の成果を発揮することができた。これを自信につなげ、次の大会も頑張ります」と話した。



[卓球] 全日本大学対抗

男子ベスト4 24年連続ベスト8入り

全日本大学対抗卓球選手権が8月10日から13日まで、東京都足立区の東京武道館で行われ、男子がベスト4に進出し昭和58年以來24年連続でベスト8入り。女子も昨年を上回るベスト8入りを果たした。

【男子】予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメントへ。慶大、立命大に快勝し、準々決勝で明大と対戦。ダブルスで原雅彦(商4・青森山田高)・江藤真伍(経営3・柳川高)組が、関東ナンバーワンの小野・水野組から白星を挙げると勢いに乗り、3―1で勝利。しかし、準決勝で青森大に敗れた。単複フル回転で活躍したエース・原は「徳増(信弥＝経済1・杜若高)、森田(翔樹＝商1・青森山田高)が大事な場面で勝利するなど、後輩の頑張りがこの結果につながった」と語った。



▲関東王者を下すなど、ベスト4進出の中心となった原<左>・江藤組(撮影・中西)

【女子】予選リーグを1位で通過。東筑紫短大、朝日大を下し、準々決勝に進出したが、中大に2―3で敗れた。舟主将(商4・中越高)は「杉本(枝穂＝文2・青森山田高)らの健闘もあり、上位に進出したが、もっと精神的な部分を鍛えていきたい」と話した。

(橋本 麻未・経済3)

[水泳] 湘南オープンウォータースイミング

女子10キロで宮杉が初優勝

8月12、13の両日、藤沢の逗子海岸ほかで「湘南オープンウォータースイミング2006」が行われ、女子10キロの部に出場した宮杉理紗(文2・湘南工科大附属高)が2時間16分26秒で初優勝を果たした。

今大会は7月のジャパンオープンの上位3人が出場。序盤から宮杉と昨年優勝の山口がトップを争い、ジャパンオープン優勝の平下が追う展開となった。ゲーム後半になって宮杉は平下を振り切り、山口との一騎打ちに。終わってみれば2秒差という接戦での勝利だった。

(中西 俊介・ネット情報3)